

11/12 酪農技術セミナー 『跛行＝不健康：農家・削蹄師・獣医師の責任』 迫る！

阿部

酪農技術セミナーの日が迫ってきました。私は 2 日目の最初ですから、前日の懇親会も余り楽しめないと思います。むしろ飲みすぎていたら注意してもらいたいです。主催者から先日メールが来まして、「セミナー参加者は現在のところ例年並み 600 名程度の参加を予定しています。これも、先生方の講演に対する期待の表れだと思いますので、何卒、よろしくお願いします。」と、プレッシャーをかけてきました。現時点で 120 枚のスライドを、どのように整理して 60 枚にするか検討中です。そこで、この場をお借りして整理させてもらおうと思いますので、少しばかりお付き合いください。

今回のテーマは「牛の蹄を知る・蹄病を知る・蹄管理につなげる」ですが、裏テーマは、「農家・削蹄師・獣医師のありがちな誤解」をあぶり出すことです。

★どこまで伝えられるかわかりませんが、こんな感じです。

✓ ギリギリまで薄く削蹄することで、次の削蹄までもたせることができる？

✓ 趾間過形成は見つけ次第切除した方が良い？

✓ 趾皮膚炎（DD）は切除した方が良い？

✓ 削蹄は年 3 回？年 4 回？

✓ DD が増えるときはすぐ蹄浴を始めるべき？

✓ 蹄底潰瘍とか白帯病などは穴を掘って膿を出せば良い？

✓ ナイロン製弾性包帯は強い力で巻いても大丈夫？

✓ DD はどんな事をしても治らない？

✓ 傷は乾かしたほうが治りやすい？

✓ 蹄病も削蹄師に任せた方が良い？

✓ 蹄病が多発したときは濃厚飼料の質量を見直すべき？

✓ 蹄病は 1 週間程度様子見してから対処を考える。良い？

✓ 良い削蹄師を探しているが見つからない。仕方ないよね？

・これらはすべて X ですよ～

（単純ではない項目もありますが）